

# 授業科目 高齢期障害作業療法学

【担当教員名】 能村 友紀		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：GI0】					
1) 高齢者の心身の特性・障害を理解できる 2) 高齢者の生活障害を理解できる 3) 高齢者に対する作業療法の援助プロセスを理解し、実践に必要な基礎知識・技術を修得する 4) 高齢者に対する作業療法の役割を理解する					
【学習目標・行動目標：SB0】					
1. 高齢者のリハビリテーションについて説明できる 2. 高齢期作業療法の病期と実施場所を説明できる 3. 高齢者に対するOTの役割、OTのプロセスを説明できる 4. 高齢期作業療法の援助法を理解できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢者のリハビリテーション			1	講義（能村）
2	高齢期作業療法の対象となる病期と実施場所			2	講義（能村）
3	高齢期作業療法プロセスの枠組み			3	講義（能村）
4	認知症の作業療法（1）			4	講義（能村）
5	認知症の作業療法（2）			4	講義（能村）
6	心身機能障害の作業療法（1）			4	講義（能村）
7	心身機能障害の作業療法（2）			4	講義（能村）
8	生活障害の作業療法（1）			4	講義（能村）
9	生活障害の作業療法（2）			4	講義（能村）
10	生活障害の作業療法（3）			4	講義（能村）
11	介護老人保健施設での高齢期作業療法の実際（1）			1～5	講義（山倉宏美）
12	介護老人保健施設での高齢期作業療法の実際（2）			1～5	講義（山倉宏美）
13	地域・在宅での高齢期作業療法の実際（1）			1～5	講義（四方秀人）
14	地域・在宅での高齢期作業療法の実際（2）			1～5	講義（四方秀人）
15	まとめ			1～5	講義（能村）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		高齢期作業療法学 第2版	小川恵子編	医学書院	2010・3,990円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席が3分の2以上で、かつ期末試験の点数が60点以上とする。			【履修上の留意点】		